

教育・研究業績書

診療科名

越谷病院放射線科

<教員の紹介>

教授 野崎 美和子
 准教授 古田 雅也
 講師 川島 実穂

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 基礎臨床系統講義	2004年5月～現在	3学年を対象として、放射線医学の基礎臨床系統講義のなかで放射線治療学総論の講義を担当している。講義では放射線物理学、放射線生物学の基礎的知識をもとに腫瘍病理学、腫瘍診断学をからめた幅広い講義を行い臨床応用へつなげる教育を心がけた。
2. BSL実習	2004年5月～現在	5学年を対象として、1週単位での臨床実習を行っている。放射線検査を安全に施行するための知識習得を重視している。実地指導は指導医によるマンツーマン教育体制をとり、医療技術のみならず医師としての患者との接遇やコメディカルとの連携の重要性を学ぶ機会を多くしている。
3. アーリーエクスポージャー	2004年5月～現在	2学年を対象として、2日単位で体験実習を行っている。解剖学、生理学、病理学などの基礎医学の知識が臨床放射線診断学にいかに関結しているかを理解させること、チーム医療の重要性を理解させることに主眼をおいた教育を行っている。
4. 臨床研修医教育	2004年5月～現在	1年次臨床研修医全員に対して放射線障害防止法にもとづき放射線被曝防護のための安全教育、MRI事故防止安全教育を行っている。 2年次研修医では1～2ヶ月単位で指導医によるマンツーマン教育体制による放射線診断学、放射線治療学に関する臨床教育を行っている。
5. 院外カンファレンス	2004年5月～現在	月1回開催される「さいたま画像カンファレンス」にBSL学生ならびに臨床研修医を参加させ、習熟度に応じて症例のプレゼンテーションをさ

6. 院内教育	2007年9月～現在	<p>せている。院外カンファレンスでは、さいたま市を中心として活動している放射線科専門医との症例のディスカッションを経験することができる。放射線診断学のより専門的な知識を習得することができる。</p> <p>院内緩和ケアカンファレンスに臨床研修医とともに参加し、がん治療における緩和ケアの重要性について教育している。</p>
② 作成した教科書、教材、参考書		
<p>1. 講義シラバスの作成</p> <p>2. 講義教材の作成</p> <p>3. 日本小児がん学会教育講演集の作成</p>	<p>2004年～現在</p> <p>2004年～現在</p> <p>2006年11月</p>	<p>第3学年に放射線医学について講義シラバスを年度ごとに作成した。</p> <p>「放射線治療学総論1・2」の授業内容を要約した教材を作成し、毎回の授業に配布し、学生の理解と学習の一助としている。</p> <p>第22回日本小児がん学会において教育講演を担当し教育講演集を作成した。</p>
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		
<p>第17回日本放射線腫瘍学会：教育講演</p> <p>第18回日本放射線腫瘍学会：教育講演</p> <p>第22回日本小児がん学会：教育講演</p> <p>第44回日本医学放射線学会秋季大会：教育講演</p>	<p>2004年11月</p> <p>2005年11月</p> <p>2006年11月</p> <p>2008年10月</p>	<p>「脳腫瘍の放射線治療-小児脳腫瘍を中心に-」の教育講演を行った。講演者；野崎美和子</p> <p>「脳腫瘍の放射線治療-小児脳腫瘍を中心に（2）-」の教育講演を行った。講演者；野崎美和子</p> <p>「小児がんの画像診断と放射線治療-治療方針の決定における画像診断の役割-」の教育講演を行った。講演者；野崎美和子</p> <p>「中枢神経の放射線治療-2.小児」の教育講演を行った。講演者；野崎美和子</p>

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院放射線科	教授	野崎 美和子	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1981年～現在	日本医学放射線学会員		
1984年～現在	日本癌治療学会員		
1985年～現在	日本肺癌学会員		
1988年～現在	日本小児がん学会員		
1989年～現在	日本放射線腫瘍学会員		
1990年～現在	日本頭頸部腫瘍学会員		
1992年～現在	日本乳癌学会員		
1993年～現在	日本癌学会員		
1993年～現在	International Association for the Study of the Lung Cancer学会員		
1994年～現在	日本小児がん学会評議員		
1999年～現在	日本放射線腫瘍学会評議員		
2000年～現在	日本核医学会会員		
2000年～現在	American Society for Radiation Oncology学会員		
2004年～現在	日本医学放射線学会代議員		
2006年～現在	日本小児がん学会理事		
2007年～現在	放射線審議会委員		
2008年～現在	Japanese Journal of Clinical Oncology, Reviewer board		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 野崎美和子：単純X線検査。森三樹雄監修・検査・検査値まるわかり事典。西東社, pp276-277, 2004.			
2. 野崎美和子：コンピュータ断層撮影(CT)。森三樹雄監修・検査・検査値まるわかり事典。西東社, pp279-280, 2004.			
3. 野崎美和子：核医学(RI)-インビボ検査-。森三樹雄監修・検査・検査値まるわかり事典。西東社, pp286-287, 2004.			
4. 野崎美和子：血管造影検査(IVR)。森三樹雄監修・検査・検査値まるわかり事典。西東社, pp290-291, 2004.			
5. 野崎美和子, 伊沢康幸：乳癌：断端陽性の時の乳房温存療法。渋谷均, 笹井啓資, 小久保雅樹編。放射線治療：専門医にきく最新の臨床。中外医学社, pp177-179, 2004.			
6. 野崎美和子, 川島実穂：乳癌：乳房切除術の術後放射線治療の意義, 照射野と線量。渋谷均, 笹井啓資, 小久保雅樹編。放射線治療：専門医にきく最新の臨床。中外医学社, pp180-183, 2004.			
7. 野崎美和子：単純X線検査。森三樹雄監修・検査・検査値早引き事典。西東社, pp276-277, 2005.			
8. 野崎美和子：コンピュータ断層撮影(CT)。森三樹雄監修・検査・検査値早引き事典。西東社, pp279-280, 2005.			
9. 野崎美和子：核医学(RI)-インビボ検査-。森三樹雄監修・検査・検査値早引き事典。西東社, pp286-287, 2005.			
10. 野崎美和子：血管造影検査(IVR)。森三樹雄監修・検査・検査値早引き事典。西東社, pp290-291, 2005.			

11. 野崎美和子, 川島実穂, 古田雅也: 乳房温存療法における短期照射-術後照射の期間短縮に関する新しい試み. 園尾博司監修・これからの乳癌診療2008~2009. 金原出版, pp86-91, 2008.
12. 野崎美和子: 小児への放射線治療. 濱口恵子, 久米恵江, 祖父江由起子, 土器屋卓志編集・がん放射線療法ケアガイド. 中山書店, pp171-173, 2009.

【原 著】

欧文

1. Furuta M, Nozaki M, Kawashima M, Iimuro M, Okayama A, Fukushima M, Natsui S, Souma R, Jinnai M: Monitoring mitochondrial metabolisms in irradiated human cancer cells with ^{99m}Tc -MIBI. Cancer Lett 212: 105-111, 2004.
2. Kawashima M, Nozaki M, Furuta M, Nakamura M, Komazaki K, Izawa Y: Objective assessment of breast skin reactions after breast-conserving therapy. J Jpn Soc Ther Radiol Oncol 19: 273-276, 2007.

【症例報告】

欧文

1. Fujino J, Yamamoto H, Kisaki Y, Ishimaru Y, Uchida H, Mori Y, Nozaki M, Ikeda H: Epidermoid cyst: rare testicular tumor in children. Pediatr Radiol 34: 172-174, 2004.

【総 説】

欧文

1. Nozaki M, Kawashima M: Short-course radiotherapy for the whole breast after breast conserving surgery. Breast Cancer 15: 80-85, 2008.

和文

1. 川島実穂, 古田雅也, 野崎美和子: 乳房温存療法後の経過観察におけるMRIの有用性. Digital Medicine 5:58-60, 2004.
2. 飯室護, 杉木大輔, 岡山絢, 川島実穂, 古田雅也, 野崎美和子, 鈴木一義, 桑山肇: 単純CTから診断する上腸間膜動脈塞栓症. 消化器の臨床 7:294-296, 2004.
3. 野崎美和子, 越永従道, 福澤正洋: ウィルムス腫瘍の治療成績と問題点-NWTS/SIOPの治療成績とJWiTSの課題について-. 小児科 46:1985-1993, 2005.
4. 飯室護, 岩崎功明, 川島実穂, 古田雅也, 野崎美和子, 遠田譲, 椎名徳彦, 諏訪和明, 杉木大輔, 高橋盛男, 桑山肇: 緊急止血の最前線. IVRを用いた消化管出血に対する診断と止血術-特に内視鏡診断・止血術が困難な十二指腸球部以深および小腸出血を中心に-. 消化器内視鏡 17:1963-1966, 2005.
5. 野崎美和子, 川島実穂, 古田雅也: 乳房温存療法における短期全乳房照射. 乳癌の臨床 21: 408-413, 2006.
6. 飯室護, 野崎美和子, 遠田譲: [緊急のIVR] その他の出血 胸部・非尿生殖器領域の出血. IVR: Interventional Radiology 23: 166-170, 2008.
7. 野崎美和子: [がん放射線治療UPDATE 知っておけばこんなにかわる放射線治療] 乳癌 短期全乳房照射 乳房温存術後の期間短縮. 医学のあゆみ 227:723-727, 2008.

8. 野崎美和子, 三橋紀夫 : 女性放射線治療医の活躍を求めて. 臨床放射線 58:611-613, 2008.
9. 川島実穂, 野崎美和子 : マンモグラム読影のコツー腫瘤と石灰化ー. 埼玉県医師会放射線科医会誌 3:1-8, 2008.

【その他】

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院放射線科	准教授	古田 雅也	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1988年5月～現在	日本医学放射線学会員		
1999年4月～現在	日本放射線腫瘍学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 野崎美和子, 川島実穂, <u>古田雅也</u> : 乳房温存療法における短期照射一術後照射の期間短縮に関する新しい試み. 園尾博司監修・これからの乳癌診療2008～2009. 金原出版, pp86-91, 2008.			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Furuta M</u> , Nozaki M, Kawashima M, Iimuro M, Okayama A, Fukushima M, Natsui S, Souma R, Jinnai M: Monitoring mitochondrial metabolisms in irradiated human cancer cells with ^{99m} Tc-MIBI. Cancer Lett 212:105-111, 2004.			
2. Kawashima M, Nozaki M, <u>Furuta M</u> , Nakamura M, Komazaki K, Izawa Y: Objective assessment of breast skin reactions after breast-conserving therapy. J Jpn Soc Ther Radiol Oncol 19:273-276, 2007.			
【症例報告】			
【総 説】			
和文			
1. 川島実穂, <u>古田雅也</u> , 野崎美和子: 乳房温存療法後の経過観察におけるMRIの有用性. Digital Medicine 5:58-60, 2004.			
2. 飯室護, 杉木大輔, 岡山絢, 川島実穂, <u>古田雅也</u> , 野崎美和子, 鈴木一義, 桑山肇: 単純CTから診断する上腸間膜動脈塞栓症. 消化器の臨床 7:294-296, 2004.			
3. 飯室護, 岩崎功明, 川島実穂, <u>古田雅也</u> , 野崎美和子, 遠田譲, 椎名徳彦, 諏訪和明, 杉木大輔, 高橋盛男, 桑山肇: 緊急止血の最前線. IVRを用いた消化管出血に対する診断と止血術一特に内視鏡的診断・止血術が困難な十二指腸球部以深および小腸出血を中心に-. 消化管内視鏡 17:1963-1966, 2005.			
4. 野崎美和子, 川島実穂, <u>古田雅也</u> : 乳房温存療法における短期全乳房照射. 乳癌の臨床 21:408-413, 2006.			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院放射線科	講師	川島 実穂	大学院の研究指導担当資格 無
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1984年～現在	日本医学放射線学会員		
1984年～現在	日本癌治療学会員		
1989年～現在	日本放射線腫瘍学会員		
1992年～現在	日本乳癌学会員		
1997年～現在	日本核医学会員		
1997年～現在	日本肺癌学会員		
2004年～現在	日本乳癌学会評議員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>川島実穂</u> ：マンモグラフィ－検査・検査値まるわかり事典。森三樹雄監修，西東社，p278，2004.			
2. <u>川島実穂</u> ：MRI検査。検査・検査値まるわかり事典。森三樹雄監修，西東社，pp284-285，2004.			
3. 野崎美和子， <u>川島実穂</u> ：乳癌：乳房切除術の術後放射線治療の意義，照射野と線量。渋谷均，笹井啓資，小久保雅樹編。放射線治療：専門医にきく最新の臨床。中外医学社，pp180-183，2004.			
4. <u>川島実穂</u> ：マンモグラフィ－検査・検査値早引き事典。森三樹雄監修，西東社，p278，2005.			
5. <u>川島実穂</u> ：MRI検査。検査・検査値早引き事典。森三樹雄監修，西東社，pp284-285，2005.			
6. 野崎美和子， <u>川島実穂</u> ，古田雅也：乳房温存療法における短期照射－術後照射の期間短縮に関する新しい試み。園尾博司監修・これからの乳癌診療2008～2009。金原出版。pp86-91，2008.			
【原 著】			
欧文			
1. Furuta M, Nozaki M, <u>Kawashima M</u> , Iimuro M, Okayama A, Fukushima M, Natsui S, Souma R, Jinnai M: Monitoring mitochondrial metabolisms in irradiated human cancer cells with ^{99m} Tc-MIBI. Cancer Lett 212:105-111, 2004.			
2. <u>Kawashima M</u> , Nozaki M, Furuta M, Nakamura M, Komazaki K, Izawa Y: Objective assessment of breast skin reactions after breast-conserving therapy. J Jpn Soc Ther Radiol Oncol 19:273-276, 2007.			
【症例報告】			
【総 説】			
欧文			
1. Nozaki M, <u>Kawashima M</u> : Short-course radiotherapy for the whole breast after breast conserving surgery. Breast Cancer15 : 80-85, 2008.			

和文

1. 川島実穂, 古田雅也, 野崎美和子: 乳房温存療法後の経過観察におけるMRIの有用性. Digital Medicine 5:58-60, 2004.
2. 飯室護, 杉木大輔, 岡山絢, 川島実穂, 古田雅也, 野崎美和子, 鈴木一義, 桑山肇: 単純CTから診断する上腸間膜動脈塞栓症. 消化器の臨床 7:294-296, 2004.
3. 飯室護, 岩崎功明, 川島実穂, 古田雅也, 野崎美和子, 遠田譲, 椎名徳彦, 諏訪和明, 杉木大輔, 高橋盛男, 桑山肇: 緊急止血の最前線. IVRを用いた消化管出血に対する診断と止血術—特に内視鏡的診断・止血術が困難な十二指腸球部以深および小腸出血を中心に—. 消化管内視鏡 17:1963-1966, 2005.
4. 野崎美和子, 川島実穂, 古田雅也: 乳房温存療法における短期全乳房照射. 乳癌の臨床 21:408-413, 2006.
5. 川島実穂, 野崎美和子: マンモグラム読影のコツ—腫瘤と石灰化—. 埼玉県医師会放射線科医会誌 3:1-8, 2008.

【その他】